

# SspI

## I. 認識配列

5'.....AAT▼ATT.....3'  
3'.....TTA▲TAA.....5'

## II. 保存

-20°C

## III. 活性定義

1 unit は、反応混合液 50 μl 中、1 μg の λ DNA を 37°C、60 分間で完全に分解する酵素活性とする。

## IV. 起源

*Sphaerotilus* species (ATCC 13925)

## V. 形状

50 mM KCl  
10 mM Tris-HCl (pH 7.5)  
0.1 mM EDTA  
1 mM DTT  
0.2 mg/ml BSA  
50% Glycerol

## VI. 酵素反応条件

・反応温度 : 37°C  
・バッファー : B

100 mM	NaCl
10 mM	Tris-HCl (pH 8.5)
10 mM	MgCl <sub>2</sub>
1 mM	DTT

## VII. 添付品

・10 x B Buffer (灰色ラベル)  
添付反応バッファーは、酵素反応条件の 10 倍濃度です。  
制限酵素のチューブのラベルと同色のラベルのものをご使用ください。

## VIII. 反応バッファー別相対活性

Buffer	L	M	H	A	B
相対活性 (%)	(<5)	(75)	10	(50)	100

## IX. 純度

本酵素 20 units と 1 μg の λ DNA を 37°C で 5 時間反応させた後、アガロースゲル電気泳動を行った結果、切断パターンに変化は認められない。

## X. 結合試験

本酵素で完全に切断された λDNA フラグメントの 90% が T4 DNA リガーゼで結合され、そのうち 95% が本酵素で再切断される。

## XI. 備考

- ・本酵素切断フラグメントは、5'末端濃度が 1~2 μM 以上でないと Ligation 効率が低下する。
- ・制限酵素のスター活性やメチル化の影響など、さらに詳しい情報についてはニッポンジーンのホームページをご参照ください。

本品は、試薬(試験研究用)として販売しているものです。  
医薬品の用途には使用しないでください。